

「ぼにばな縁日会とうたあそび」概要

2017/7/22

○ ぼにばな縁日会について

- ・その昔、ヒゴタイは、盆花（ぼにばな）としてお墓や、慶雲寺の寺山にある御大師さんの石像へ手向けていました。
- ・現在、「ヒゴタイの会」が、廃校となった三河内小学校の取組を引き継ぎ、比和小学校などと連携し、保全活動をおこなっています。
- ・今年の8月26日には慶雲寺で大師縁日があり、市の無形民俗文化財「三河内刀踊り・扇踊り」が境内で披露されます。

ヒゴタイの見頃は、大師縁日頃のため、翌日の8月27日に、ぼにばなの出会いのご縁をもらっていただきたいと「ぼにばな縁日会」を開催します。

- ・ぼにばなの出会いのご縁をいただく場所として、ヒゴタイ観察ができる「ぼにばなの咲く丘」や、三河内氏二代墓塔、お大師様の石像めぐり、更には、「ご縁のお茶会」と「比和もえぎそば」の味をきく場を設けることにしております。
- ・また、出会いのご縁をうたに詠み、思い出として持ち帰っていただきたいと、チラシに「五七五のうたあそび」カードをお付けしております。

○ ご縁のお茶会について

- ・ぼにばなの出会いのご縁をいただいた、勝光山のふもとにある、「暮らし宿お古」から、この日のために来られます。自分でお茶を点て、日本文化を楽しみ、帰りにご縁（5円）をいただいてお帰りください。
- ・午前10時～16時、先着40人限定、費用は2服分で995円、古民家 長者屋にて。

○ 「比和もえぎそば」について

- ・比和のそばは、殻を取った丸抜きを使用し、麺にします。甘皮のもえぎ色が特徴のため、比和もえぎそばとして「比和そばの会」が提供します。
- ・午前11時～13時、先着100人限定、1食500円、慶雲寺本堂にて。

○ 「祥光山 慶雲寺」について

- ・慶雲寺の参道から、三河内のカンナ残丘や城跡のある三つ子山、その昔、慶雲寺などの修行道場があった勝光山が一望できます。
- ・慶雲寺の寺山には、三河内氏二代墓塔やお大師様の石像をめぐることができます。

○ 「うたあそび」について

- ・庄原市比和町では、比和自治振興区が「ヒワちゃん俳句工房」として、比和の子どもたちの俳句集を発行されています。
- ・現在、NPO法人 比和まちミュージアムでは、俳句などの「うたあそび」を通じて町づくりを考えております。もしよろしければ、詠まれたうたを、私たちにも教えていただける方は、ご面倒ですが、比和まちなかにある「俳句ポスト」へ、カードをご投函いただければ幸いです。

